

## 年会開催ルール細目

年会の開催方針に関する第 20 期将来計画委員会提言に従い、以下の実施方針を定める。

1. 英語化  
シンポジウムとワークショップ全体の 3 分の 1 以上を、英語のセッションとすることが望ましい。  
要旨とスライドとポスターは英語とするが、発表は日本語でも可とする（タイトルは日本語を併記）。
2. 人材育成  
シンポジウム・ワークショップオーガナイザー等およびスピーカーに若手研究者・女性研究者を積極的に含めることを推奨する。オーガナイザー、スピーカーそれぞれに、女性研究者 30% 程度以上を目標値とする。
3. プログラム  
プログラムや要旨はオンラインで公開し、継続的にアーカイブする。
4. 国際化促進  
海外講演者招聘旅費援助は、年会予算を勘案した上で、原則実施するものとする。
5. 学会企画  
キャリアパスセミナー（キャリアパス委員会企画）、研究倫理セミナー（研究倫理委員会企画）は、学会企画として毎年実施する。
6. 新学術領域等による協賛企画  
新学術領域等の「冠」企画の実施も可能とする。実施する場合は協賛企画として公募をし、プログラムに協賛企画である旨を明記の上、協賛金を徴収する。班会議と同様の企画にならないように、領域外の講演者を必ず含めることとする。  
但し、関連学協会との共催・協賛企画は対象としない。
7. 災害対応  
不測かつ突発的な事由（地震を含む自然災害等）により年会開催が危ぶまれる状況に直面した場合には、当該年会長と執行部が協議してその対応を決定するものとする。

本方針は、今後理事会において必要に応じて修正する。

《第 20 期将来計画委員会（執行部）》

杉本亜砂子（理事長）、小林武彦（副理事長）、小安重夫（副理事長）、  
稲田利文（理事/庶務幹事）、深川竜郎（庶務幹事）、塩見春彦（理事/広報幹事）

2018 年 9 月 14 日 第 20 期理事会承認

2018 年 11 月 27 日 第 20 期・第 21 期合同理事会にて細目 8. を一部修正、細目 9. を追加。

2019 年 12 月 2 日 第 21 期第 2 回理事会にて細目 3. を一部修正。

2024 年 3 月 14 日から 4 月 4 日において実施した第 23 期の持回り理事会にて  
細目 1. ならびに 5. を削除、細目 2.（人材育成）ならびに 3.（プログラム）を一部修正。